

第161回免疫系発生学セミナー

# 渡辺 政志 博士

Experimental Immunology Branch  
National Cancer Institute, NIH, USA

## The role of tumor suppressor p53 in CD4 T cell function and homeostasis

2015年5月18日 月曜日  
16:00 - 17:00

疾患プロテオゲノム研究センター  
1F 交流ホール

T細胞の抗原応答はどのようにして抗原特異的に保たれているのだろうか。この疑問は、サイトカインなど抗原非特異的なT細胞制御因子の同定が進むなか、重要性を増しています。Richard Hodes博士の研究室でこの疑問の解明に取り組み、癌抑制因子p53の関与に注目して研究を進めている渡辺博士に来学いただく機会を得たので、セミナーしていただくことにしました。多数のご参加をお待ちしています。

問合先: 疾患プロテオゲノム研究センター生命システム形成分野/大学院医科学教育部免疫系発生学  
高浜 (x9452, takahama@genome.tokushima-u.ac.jp)